

JOINT STAFF PRESS RELEASE

<http://www.mod.go.jp/js/>

平成24年度自衛隊の災害派遣及び 不発弾等処理実績について



25. 5. 23

統合幕僚監部

1 災害派遣

(1)全 般

■ 総件数：520件

- ・ 前年度比約1割減、最近5カ年で最少

■ 派遣規模：前年度よりも大幅に減少

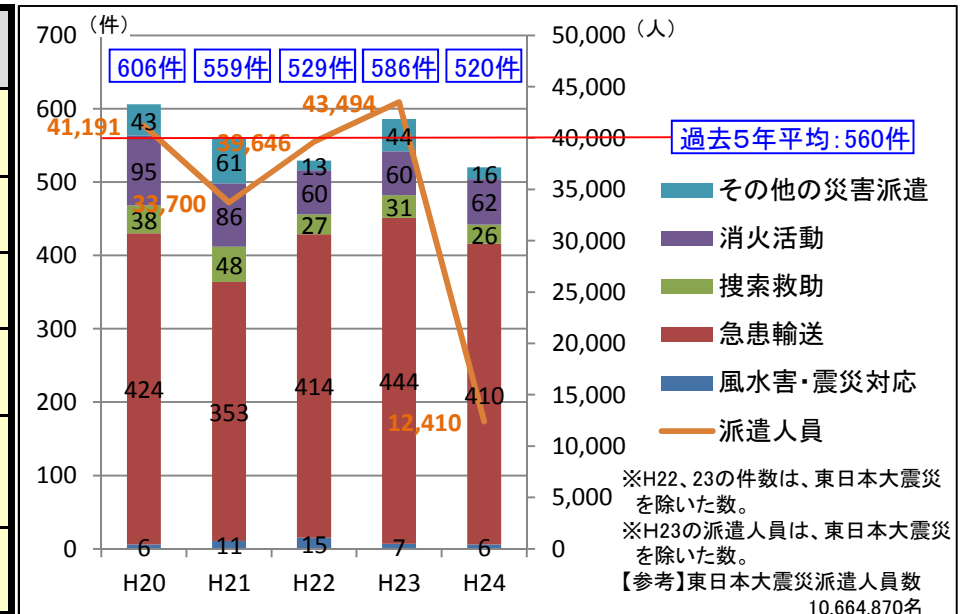
【大幅減少の主な要因】

- ・ 延べ人員数及び車両数
旧年度に比し、大規模かつ長期にわたる災害派遣が未生起
《過去の一例》H20：岩手・宮城内陸地震対処 H22：宮崎県において発生した口蹄疫への対応 H23：平成23年台風12号被害への対応
- ・ 延べ航空機数
上記に加え、地震発生回数の減少（前年度比）等に伴う航空機による情報収集の実施回数の減少

●【表1-1】平成24年度災害派遣実績

区 分	件 数 (前年度比)	人員(人) (前年度比)	車両(両) (前年度比)	航空機(機) (前年度比)	艦艇等(隻) (前年度比)
風水害・地震等	6 (-1)	5,515 (-29,867)	1,347 (-10,248)	35 (-166)	0 (±0)
急患輸送	410 (-34)	2,115 (-175)	10 (+5)	446 (-37)	0 (±0)
搜索救助	26 (-5)	3,072 (+77)	470 (+80)	100 (+10)	1 (-1)
消火活動	62 (+2)	989 (-1,077)	99 (-65)	62 (-23)	0 (±0)
その他の 災害派遣	16 (-28)	719 (-42)	142 (+119)	41 (-68)	0 (±0)
合計(前年度比)	520 (-66)	12,410 (-31,084)	2,068 (-10,109)	684 (-284)	1 (-1)

●【表1-2】過去5年間の件数・派遣人数の推移



(2) 細部実績等

風水害・地震等

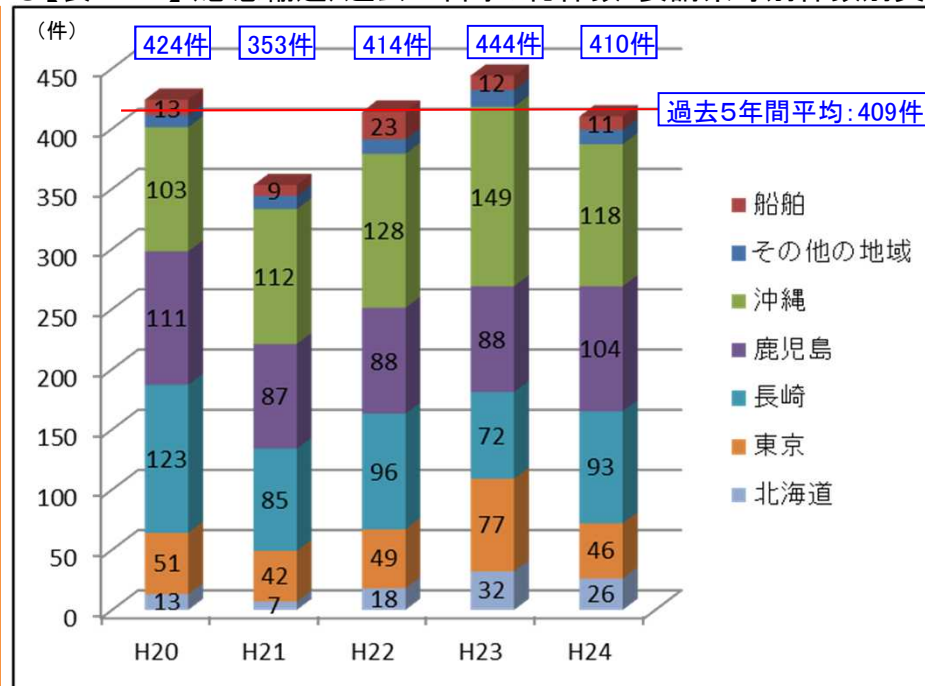
●【表1-3】(風水害・地震等)平成24年度のトピックス

件 名	時 期	活動地域	規模(延べ)	活動内容
■茨城県等における突風災害に係る災害派遣	5/6 ～ 5/8	・茨城県つくば市	・人 員:160名 ・車 両: 53両	・人命救助
■平成24年7月九州北部豪雨に係る災害派遣	7/12 ～ 7/21	・熊本県 熊本市、阿蘇市、南阿蘇村、 高森町 ・大分県 竹田市、日田市、中津市 ・福岡県 朝倉市、柳川市、久留米市、 八女市	・人 員:5,348名 ・車 両:1,279両 ・航空機: 35機	・孤立住民の救助 ・人命救助 ・水防活動 ・給水支援 ・物資輸送
■北海道における暴風雪に伴う人命救助等に係る災害派遣	3/2 ～ 3/3	・北海道北見市、国道39号線 沿い(美幌町～大空町) ・北海道別海町	・人 員: 93名 ・車 両: 15両	・人命救助

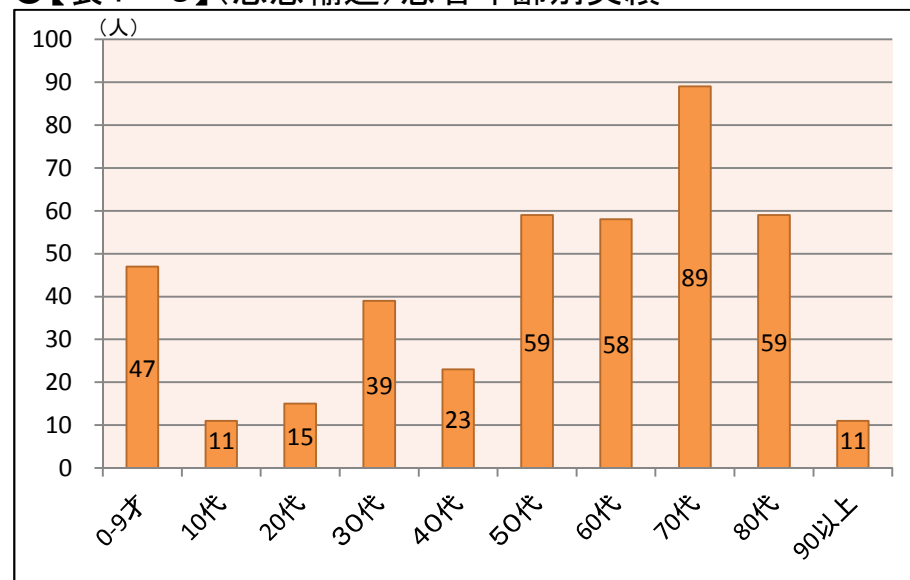
急患輸送

- 総件数：410件
 - ・ 前年度比34件減、過去5年平均並み
- 要請県等別傾向
 - ・ 各県とも概ね横ばい
- 患者年齢別傾向
 - ・ 50代以上の高齢者が多く、70代が最多
- 月別傾向
 - ・ 冬期（12月～3月）の他、7月及び9月が多い傾向

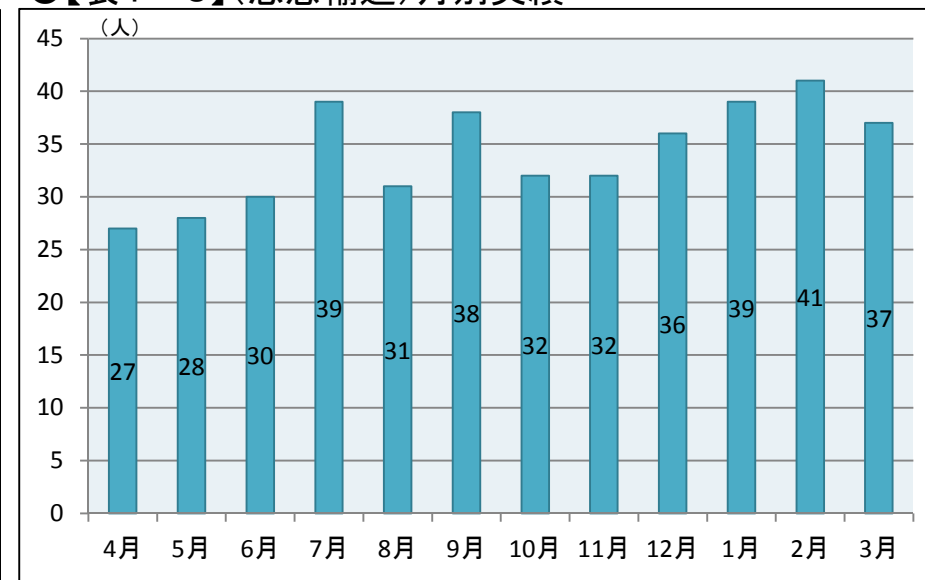
●【表1-4】(急患輸送)過去5年間の総件数・要請県等別件数別実績



●【表1-5】(急患輸送)患者年齢別実績



●【表1-6】(急患輸送)月別実績



搜索救助

■ 全 般：総件数 26 件

- ・ 前年度比 5 件減
- ・ 陸上部：13 件、海上部：13 件
- ・ 陸上部の多くは山岳遭難、海上部の多くは遭難船舶の搜索又は船舶からの海中転落等による行方不明者搜索

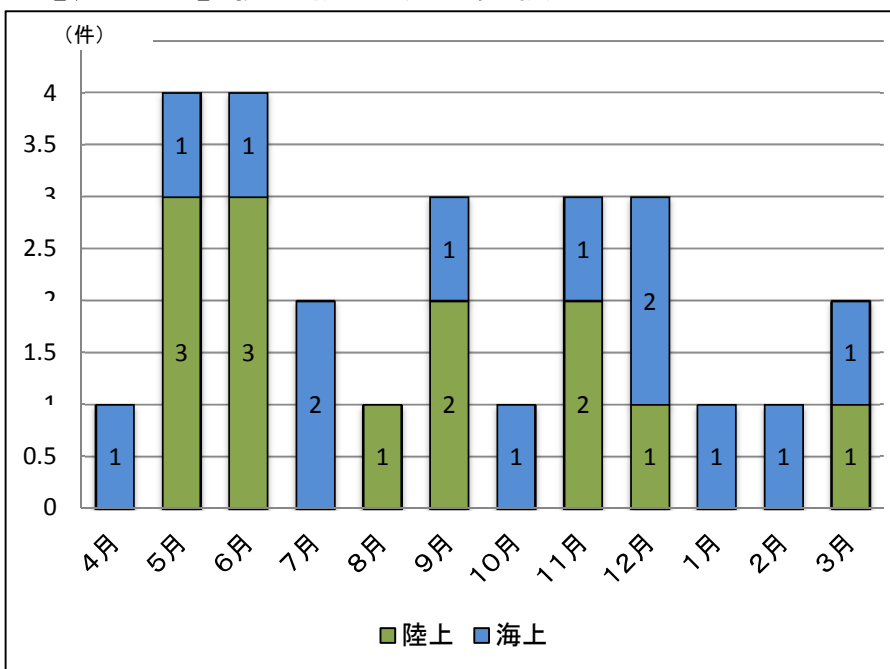
■ 月別傾向

- ・ 陸上部でのピークは、春季（5・6月）、次いで秋季（9・11月）

■ 要請者別傾向

- ・ 北海道が最多（9 件）（細部下表）

●【表1－7】（搜索救助）月別実績



●【表1－8】（搜索救助）要請県等別実績

要請県等	件数	種 類	備 考
北海道	9	山岳遭難者搜索	
青森県	1	行方不明者搜索	むつ湾における漁船乗員の海中転落(1月)
京都府	1	行方不明者搜索	京都府宇治市における大雨被害に係る災害派遣(8月)
鳥取県	2	山岳遭難者搜索	
海上保安庁	12	遭難船舶の搜索 行方不明者 遭難航空機(※注)	行方不明船舶の搜索、乗員の海中転落等 ※注:米軍機(F-16)の海中墜落(根室市北東沖、7月)
東京空港事務所	1	遭難航空機の搜索	北海道における行方不明航空機の搜索(3月)

消火活動

■ 全 般：総件数 62 件

- ・ 昨年度と概ね横ばい（2 件増）
 - － 近傍火災：57 件（昨年度比 3 件増）
 - － 山林火災：5 件（昨年度比 1 件減）
- ・ 派遣規模：昨年より減少

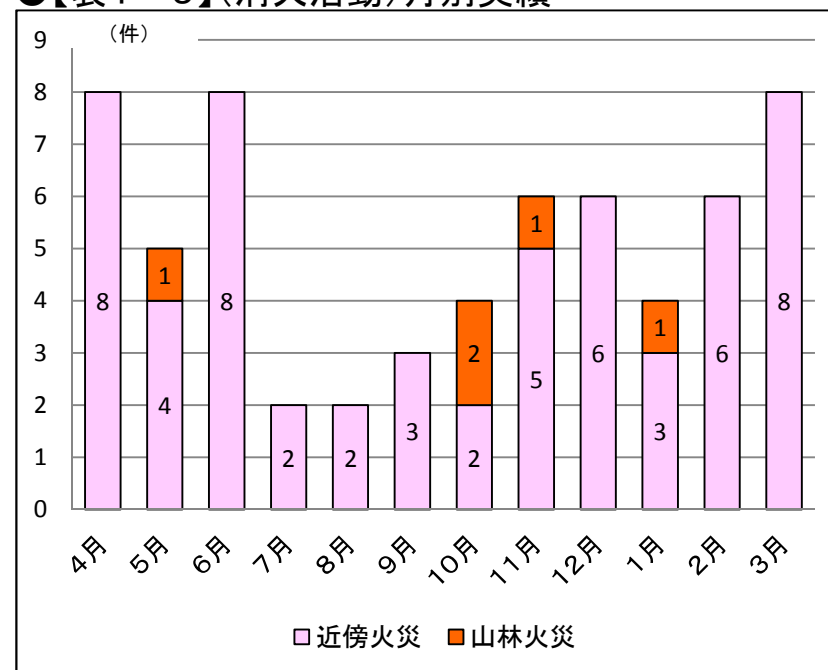
【減少理由】

山林火災派遣の殆どが長期間に及ぶ派遣にならなかったため。（5 件中 4 件は派遣から 2 日以内に終了）

■ 月別傾向

- ・ 近傍火災：冬季から春季に多い傾向
- ・ 山林火災：5 件中 3 件は 3 四半期に実施

●【表 1－9】（消火活動）月別実績



【参考】

●近傍火災：自衛隊法第83条第3項に基づき部隊等の長が実施をする災害派遣

●山林火災：要請派遣（自衛隊法第83条第2項）、自主派遣（同項ただし書）及び近傍派遣（同第83条第3項）のいずれかのケース。H24の実績は、いずれも要請派遣。

その他の災害派遣

※ その他の災害派遣：地震発生時の情報収集、物資の輸送、給水支援等

■ 地震発生時における航空機による情報収集（※）

- ・ 地震発生回数の減少等により実施回数は減少

※ 震度5弱以上で情報収集活動開始
震度5強以上で別命なく航空機による情報収集を実施（基準）

■ その他、物資の輸送、給水支援等を実施

●【表1－10】（その他の災害派遣）航空偵察実績

年 度	震度5弱以上の地震発生回数	航空機による情報収集
平成23年度	46回	42回
平成24年度	12回	7回

【地震発生回数：気象庁HPより抜粋】

●【表1－11】（その他の災害派遣）その他の災害派遣（航空偵察以外）実績

時期	場所	種 類	備 考
4月	沖縄県	物資の輸送	血液製剤
5月	千葉県	給水支援	利根川水系の浄水場で国の基準値を超えるホルムアルデヒドが検出されたことによる取水停止に伴う大規模な断水
5月	長崎県	物資の輸送	輸血用血液
8月	長崎県	物資の輸送	血液製剤
8月	長崎県	物資の輸送	血液製剤
10月	沖縄県沖	その他	火災船舶からの乗員輸送
11月	北海道	物資の輸送	暴風雪による送電線倒壊に伴う大規模な停電
12月	島根県	物資の輸送	輸血用血液
2月	北海道	給水支援	導水管損傷による大規模な断水

2 不発弾等処理

(1) 陸上において発見された不発弾その他の火薬類

■ 全 般

- ・ 処理件数は概ね横ばい
- ・ 処理重量は昨年度から増加

【増加理由】

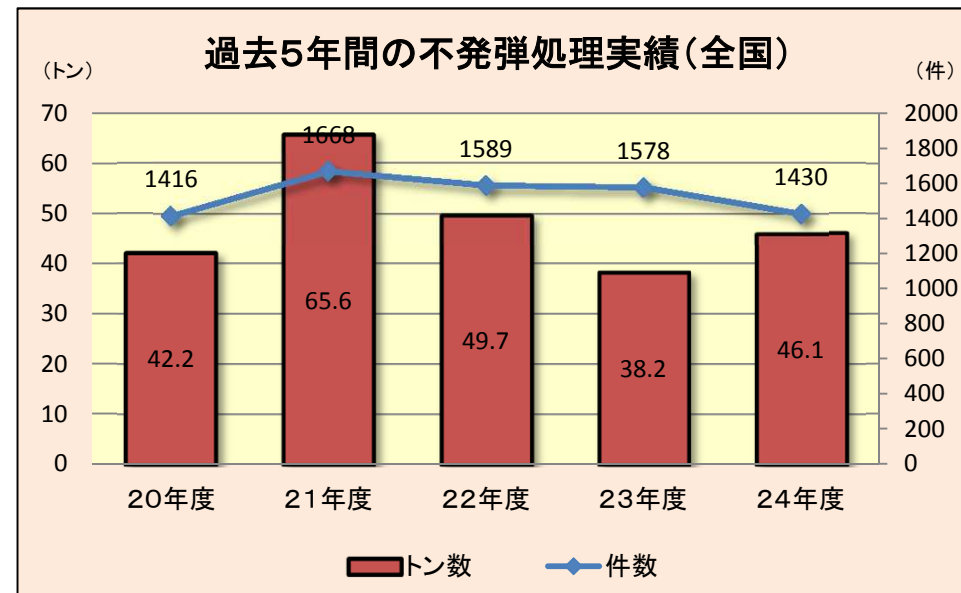
硫黄島遺骨収集支援時に回収した不発弾を処理
(13トン) したことが主な要因

●【表2-1】(陸上不発弾)平成24年度の実績

区分	件数 (前年比)	重量(単位:トン) (前年比)
全国 (沖縄含む)	1,430 (-148)	約46.1 (+7.9)
沖縄	746 (-131)	約18.9 (-4.0)

●【表2-2】過去5年間の不発弾処理実績(全国(沖縄含む))

平均件数:1,536件/年 平均重量:48.4トン/年



(2)海上における機雷その他の爆発性の危険物

※ 機雷 その他の爆発性危険物:機雷、魚雷、爆雷、爆弾等

■ 海上における機雷

- ・ 処理個数は前年度と同じ。
- ・ 処理重量は増加

【増加理由】

機雷 1 個の重量が大きいため。

■ その他の爆発性の危険物

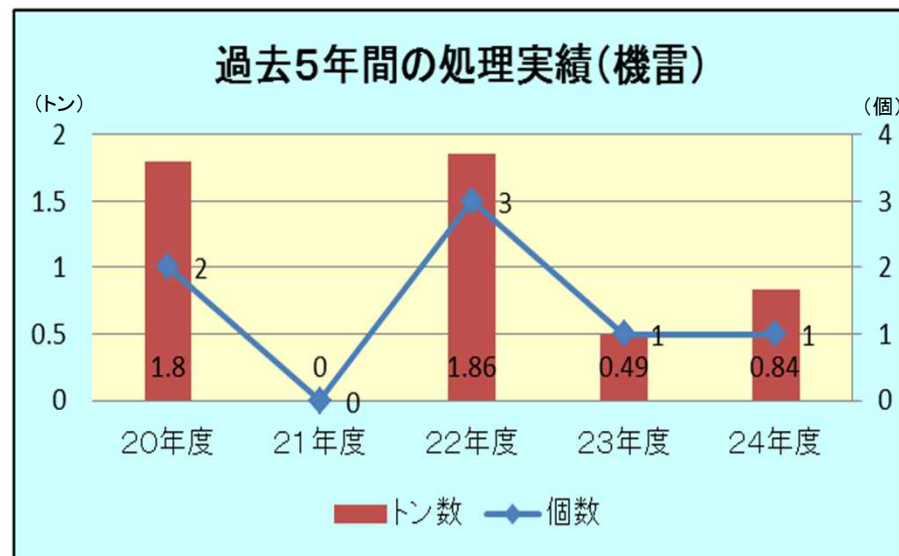
- ・ 個数及び処理トン数ともに、昨年度に引き続き減少

●【表2-3】(機雷その他の爆発性の危険物)平成24年度の実績

区 分	個 数 (前年比)	重 量(トン) (前年比)
機 雷	1 (±0)	約0.84 (+0.4)
その他の 爆発性危険物	1,522 (-1,357)	約13.7 (-11.0)
その他の爆発性 危険物(沖縄)	284 (-879)	約7.7 (-12.7)

●【表2-4】過去5年間の処理実績(機雷)

平均個数:1.4個/年 平均重量:1.00トン/年



●【表2-5】過去5年間の処理実績(その他の爆発性の危険物)

平均個数:2,359個/年 平均重量:21.4トン/年

